

2019 なつやすみおすすめ本

3・4年生

『リンちゃんとネネコさん』913モ

もりやま みやこ さく の み やま きょうこ え こうだんしゃ
森山 京/作 野見山 響子/絵 講談社

リンちゃんは小学四年生の女の子。ネネコさんは「負けてたまるか」が口ぐせのおばあさん。意外なかたちで出会った二人。

リンちゃんは、ネネコさんをクラスの人々と作る劇の主人公にしようと思いたちます。その日から、リンちゃんは、ネネコさんにもう一度会えないか探し始めます。

一方、ネネコさんはリンちゃんの姿にわかいころの自分をかさねるのでした。年がかけはなれた二人の友情物語。

『りっぱな兵士になりたかった男の話』973ス

グイード・スガルドリ/作 すぎもと 杉本あり/訳 こうだんしゃ
講談社

カスパールはりっぱな兵士です。なぜなら、「りっぱな兵士であるための九か条」をきちんとまもっているから。ある日、上官によばれてめいれいを受けました。山の上の風車をかんしするように！カスパールは「はい！」と返事をしました。なぜなら、りっぱな兵士は、命令は第一、疑問を持ってはならない、返事は「はい！」をこころがけると、九か条にあるからです。山の上の風車小屋で、なにがまちうけているのでしょうか。

『小さい魔女』943フ

オトフリート=プロイスラー/著 ウィニー=ガイラー/画 おおつか ゆうぞう
がっけん 学研 大塚 勇三/訳

小さい魔女はちょっぴりそそっかしくて、負けず嫌い。年は127歳。魔女としてはまだ若くてまだまだ新米なので、年に1度のワルブルギスの夜のお祭りにもだしてもらえない。こっそりお祭りに紛れ込んだはずが意地悪な魔女にみつかってしまい、みんなの前で1年後には『いい魔女』になることを約束するはめに…。『いい魔女っていったいどんな魔女！？』さあ、小さい魔女の自分探しの旅が始まります。

『どうくつをたんけんする』2-454ホ

ほりうち せいいち ふくいんかんしょてん
堀内 誠一/作 福音館書店

どうくつ研究所の先生に招かれ、夏休みに「ぼく」はどうくつたんけんに行ってきました。「どうくつの中はどうなっているの?」「中に何がいるの?」「どうしてこんなものができたの?」など、どうくつのふしぎにせまります。

『森に学校ができた』913キ

きたむら えり/作 ふくいんかんしょてん
福音館書店

こぐまのダンは、毎朝、おきるとまっさきに、窓をあけて空をみあげます。「やったあ」。きょうは、青空です…。森にはいろいろなどうぶつたちがすんでいて、学校を作ることになりました。学校では、森の動物たちが助けあって、仲よく生きて行くことを学びます。こぐまとその仲間たちの森での生活を、ほのぼのと描いた作品。

『きょうりゅうが学校にやってきた』933フ

アン・フォーサイス/作 むかい ながまさ/絵 くまがい こうじ きん ほししゃ
熊谷 鉦司/訳 金の星社

月よう日。トムは、教室のまどから外を見ながら、かんがえごとをしていました。そのときです、ひょこひょこ、小さなきょうりゅうが、やってくるではありませんか。子供達は花をあげたり給食のキャベツをあげたりとお世話をします。大人たちはきょうりゅうをどうにかしようと思いますが、誰も引き取れません。きょうりゅうはどうなってしまうのでしょうか…

『手で食べる?』2-596モ

もりえだ たかし ふくいんかんしょてん
森枝 卓士/文・写真 福音館書店

みんなは ごはんを どうやって食べてるかな?
おはし、フォーク、スプーン、手でつまんだりとか いろいろな食べかたがあるね。
どうして食べる道具が ちがってくるんだろう??その理由をたしかめてみよう!